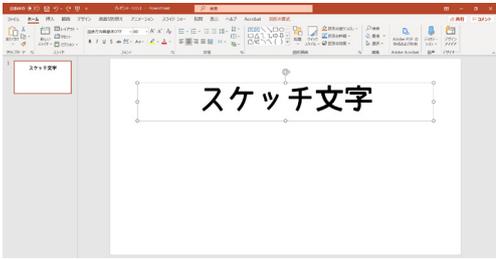
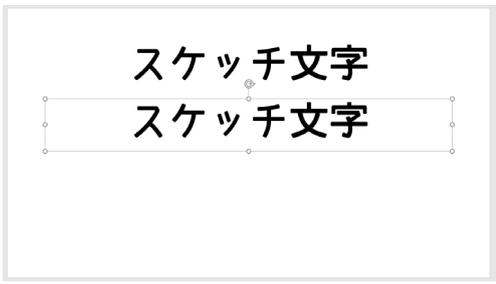
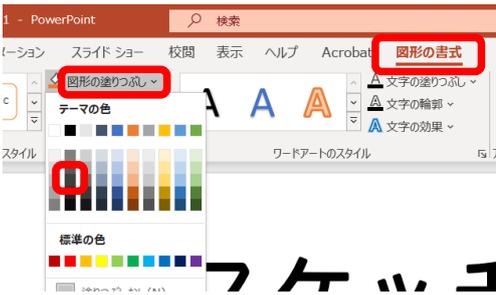
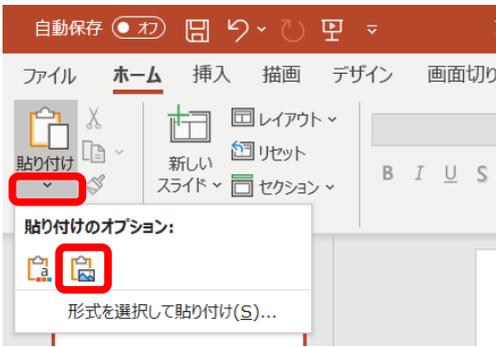
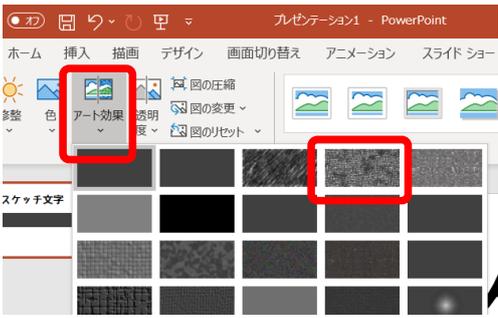
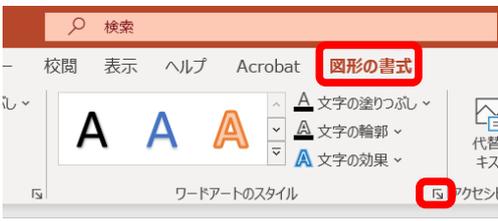
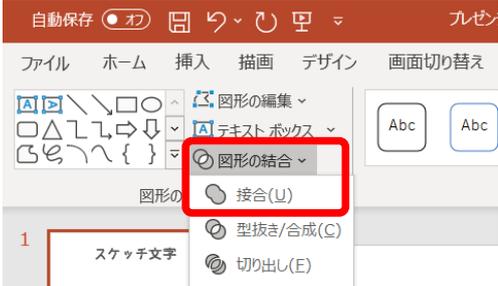
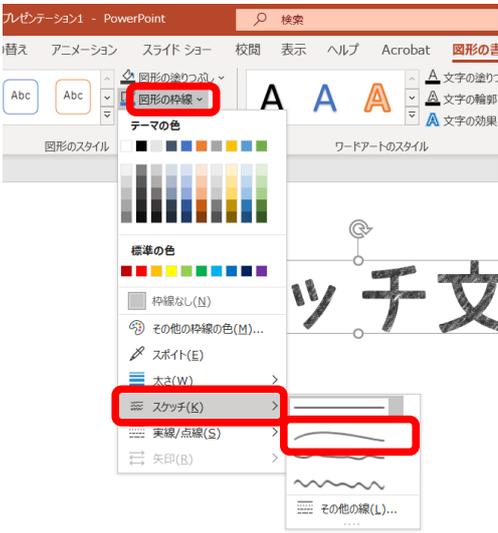


スケッチ文字

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

<p>1</p>		<p>スケッチ文字にしたいテキストを用意します。</p>
<p>2</p>		<p>テキストボックスを選択し、「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。</p>
<p>3</p>		<p>「図形の書式」 → 「図形の塗りつぶし」。 好みによりますが、濃い目のグレーを選択。</p>
<p>4</p>		<p>テキストボックスの文字を削除。</p>
<p>5</p>		<p>「Ctrl」 + 「X」 キーで、切り取り。 「貼り付け」 → 「貼り付けのオプション」から「図」を選択。 これで、図形だったテキストボックスが画像としてスライドに貼り付けられます。 画像になると、アート効果が使えるようになります。</p>

6		<p>画像をダブルクリックすると、リボン「図の形式」になるので、 「アート効果」→「鉛筆：スケッチ」。</p>
7		<p>このようになります。 「Ctrl」+「X」で、切り取り。</p>
8		<p>テキストボックスを選択し、 「図形の書式」→「ワードアートのスタイル」の [A] をクリック。</p>
9		<p>画面右に「図形の書式設定」ウィンドウが開くので、 [A] をクリックし、「文字の塗りつぶし」。 「塗りつぶし (図またはテキストチャ)」をオン。 「クリップボード」。</p>
10		<p>テキストがスケッチ文字になりました。</p>
補足		<p>ここからは、おまけです。輪郭線のあるスケッチ文字の作り方です。 作ったスケッチ文字を「Ctrl」+「D」キーで、複製。</p>

		<p>テキストボックスを2つ選択して、 「配置」→「左右中央揃え」。 「配置」→「上下中央揃え」。</p>
		<p>「図形の結合」→「接合」。</p> <p>テキストボックスが図形になります。 図形になるので、文字の変更はできなくなります。</p>
		<p>「図形の枠線」→「スケッチ」→「曲線」。</p>
		<p>枠線の太さや色を調整すれば、輪郭線の中を塗りつぶしたようなスケッチ文字になります。</p>